

- 聖徳大学大学院 ■聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学 ■聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学短期大学部 ■聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学幼児教育専門学校 ■聖徳大学附属第三幼稚園
- 聖徳大学附属高等学校 ■聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳大学附属聖徳高等学校 ■聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳大学附属中学校 ■聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳大学附属聖徳中学校 ■聖徳学園多摩中央幼稚園

聖徳FLASH

聖徳FLASH
第17号
平成17年4月1日
●発行●
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.ac.jp/>



三月九日(水)、松戸駅東口に生涯学習社会貢献センター(一〇号館)が完成し竣工式を迎えました。学園関係者、生涯学習関係者、研究者、市関係者を中心に地域の方々からも多数の参加があり、これまで以上の、開かれた大学を目指す本学にとって相応しいスタートとなりました。

竣工式は、学園関係者および来賓の方によるテープカットに始まり、定礎の儀、定礎法要、落慶法要、そして直会の会と滞りなく行われました。式では、川並弘昭理事長・学園長が、地域の方々にも多くご参加いただき、その期待の大きさを感じています。このセンターを松戸駅前のシンボルタワーとして、ますます生涯学習が活発になっていくよう推進していききたいと思えます。式辞を述べました。



(写真1)14階 / スカイラウンジ「ロカス」

本センターは、文部科学省が推進する「学術フロントティア推進事業」に採択された研究施設で、同省の「私立学校施設整備費補助金」の交付を受けて建設された学術研究施設です。本センターは地下一階、地上十四階で、昨年度の本学園七十周年にちなみビルの高さは七十メートルとなっています。



(写真4)3階 / 託児室

「ロカス」ラウンジ(約百名の収容が可能な視聴覚室写真1)で、パーティーホールとしても利用可能です。十三階のニューオータニ運営カフェテリア



(写真3)9階 / 視聴覚スタジオ

「スパンカ(ギリシャ神話の「からす座」の意)では、遠くは富士山を望みながらお食事をしていただくことができます(八頁)にメニューを掲載しています。十階には調理関係の講座で活用される最新のシステムキッチンを配したキッチンスタジオ(写真2)、そして九階の視聴覚スタジオ(写真3)にはインタラクティブ



(写真2)10階 / キッチンスタジオ

口にICカードと連動した施錠システムを配備し、お子様連れの方にも安心してセンターをご利用いただくことができます。この他の階には、ガラスパーティション

を基調に、時間と季節の移り変わりを演出し、夜間も松戸の街のシンボリックな建物となっています。そして、一階エントランスホールには本学とゆかりの深い彫刻家流政之先生の作品「WAVE MAGIC」(写真5)が展示され、作品には人としての躍動感あふれる



(写真5)1階 / エントランスホールの彫刻「WAVE MAGIC」

「波」が本センターから、松戸、東葛さらには首都圏まで届くようにとの祈りが込められています。聖徳大学は四月からいよいよ本格的な稼働を始めた本センターを通じて、学園全体で地域社会に「開かれた大学」の実現を目指します。

新潟県中越地震による義援金について (ご報告)

拝啓
陽春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。昨年十月二十三日に発生した新潟県中越地震に際しまして、被災地お見舞いのための募金を募りましたところ、多くの方から心温まる義援金をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

この義援金は、同年十二月二十一日に新潟県庁(新潟県中越地震対策本部)に送付させていただきましたので、ここに報告申し上げますと共に、ご協力いただきました皆様へ、

新潟県中越地震による義援金について (ご報告)

新潟県庁よりお礼状と領収書をいただいております。(保管先: 学生課)

記
義援金合計
1,000,000円
(内 訳)
学生・教職員・一般
465,359円
(募金箱での募金合計)
聖徳祭売上金
434,641円
(売上金1,886,685円の一部)
香和会お見舞金
100,000円

この募金状況は新潟県庁のホームページにも掲載されています。
<http://www.pref.niigata.jp/>
(義援金受付: 平成16年12月25日掲載) 以上

第 2347 号

義援金領収証明書

聖徳大学 様

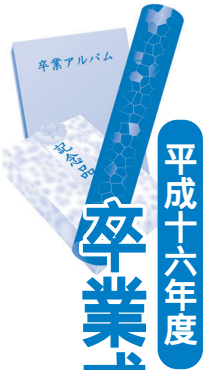
¥1,000,000

所得税法第79条第2項第1号
法人税法第37条第4項第1号に
かかる寄附金に該当します

ただし、新潟県中越地震義援金として
上記のとおり領収したことを証明します。

平成16年12月21日

新潟県中越地震対策本部
出納部長 土田 純



平成十六年度 卒業式、卒園式、保育証書授与式が終了

三月八日(火)に行われた聖徳中高の卒業式を皮切りに、附属中高(三月九日)、附属小(三月十日)、専門学校(三月十三日)、附属幼稚園(三月十四日)、附属第二幼稚園(三月十五日)、三田幼稚園(三月十六日)、附属第三幼稚園(三月十六日)、八王子中央幼稚園(三月十七日)、附属浦安幼稚園(三月十七日)、短期大学部(三月十八日)、多摩中央幼稚園(三月十八日)、大学院・大学(三月十九日)とそれぞれ行われました。なかでも、昨年四月に開園した浦安幼稚園では初となる保育証書授与式が行われ、松組園児二十九名が元気に巣立っていました。

合計三千三百六十三名は、それぞれの思いを胸に新たな活躍の場へと巣立っていきましました。

合格おめでとうございます。

附属高校
聖徳大学 青山学院大学 麻布大学 国立音楽大学 國學院大学 昭和大学 専修大学 中央大学 東海大学 東京音楽大学 東京女子大学 東京理科大学 東洋大学 獨協大学 日本大学 日本赤十字看護大学 文教大学 法政大学 明治大学 明治学院大学 立教大学
他、多数合格しています。

聖徳高校
聖徳大学 聖徳大学短期大学部 筑波大学 千葉大学 法政大学 明治学院大学 京都府立大学
他、多数合格しています。

附属四園
西大和学園中学校 渋谷教育学園幕張中学校 海城中学校 東邦大学附属東邦中学校 学習院中等科 立教新座中学校 江戸川学園取手中学校 攻玉社中学校 栄東中学校 市川小学校 白百合学園小学校
聖徳大学附属小学校 浦和ルーテル学院小学校 川村小学校 ぐんま国際アカデミー初等部 慶心義塾幼稚舎 国府台女子学院小学校 昭和学院小学校 白百合学園小学校
他、多数合格しています。

附属四園
聖徳大学附属小学校 浦和ルーテル学院小学校 川村小学校 ぐんま国際アカデミー初等部 慶心義塾幼稚舎 国府台女子学院小学校 昭和学院小学校 白百合学園小学校
他、多数合格しています。

平成17年度保護者会・後援会開催日程

- ぜひご参加ください (3月14日現在)
- 大学・短期大学部
 - 5月7日(土) 定期総会 聖徳大学
 - 6月26日(日) 北海道支部総会 札幌グランドホテル
 - 9月3日(土) 静岡県支部総会 三島グランドホテル
 - 9月11日(日) 新潟地区支部総会 ホテルニューオータニ長岡
 - 10月2日(日) 東北(北)支部総会 盛岡・ホテルニューカーリーナ
 - 10月16日(日) 東北(南)支部総会 郡山・ビューホテルアネックス
 - 10月22日(土) 甲信地区支部総会 松本・ホテルエナピスタ
 - 10月30日(日) 九州・沖縄地区支部総会 ホテル日航那覇グランドキャッスル
 - 11月20日(日) 茨城県支部総会 土浦・ホテルCANKOH
 - 11月27日(日) 東京地区支部総会 聖徳大学
 - 12月4日(日) 北関東支部総会 大宮・JA共済埼玉ビル
 - 12月11日(日) 千葉県支部総会 聖徳大学
 - 専門学校
 - 保護者の授業見学 保育科第 部・保育科第 部の1時限目~7時限目(全授業)
 - 前期 5月2日(月)~7月8日(金)
 - 後期 10月3日(月)~1月20日(金)
 - 詳細につきましては、4月中旬にご案内を送付いたします。
 - 附属中高
 - 5月15日(日) 後援会総会 場所:本校 奏楽堂
 - 聖徳中高
 - 評議員会 5月21日(土) 9月17日(土) 2月25日(土)
 - 後援会総会・支部総会 5月28日(土) 7月2日(土) 12月3日(土)
 - 附属小学校
 - 学級懇談会 4月30日(土) 3月2日(木)
 - 附属四園
 - 父母の会総会 4月16日(土)
 - 附属幼稚園 4月15日(金)
 - 附属第二幼稚園 4月14日(木)
 - 附属第三幼稚園 4月19日(火)
 - 父親参観 6月4日(土) 6月11日(土) 6月4日(土) 6月11日(土)
 - 附属幼稚園 6月4日(土) 6月11日(土) 6月4日(土) 6月11日(土)
 - 附属第二幼稚園 6月4日(土) 6月11日(土) 6月4日(土) 6月11日(土)
 - 附属第三幼稚園 6月4日(土) 6月11日(土) 6月4日(土) 6月11日(土)
 - 附属浦安幼稚園 6月4日(土) 6月11日(土) 6月4日(土) 6月11日(土)
 - 4園保育参観(1学期)
 - 年長組 4月20日(水)
 - 年中組 4月21日(木)
 - 年少組 4月22日(金)
 - 保育参観(2学期)
 - 附属幼稚園 11月25日(金)
 - 附属第二幼稚園 11月22日(火)
 - 附属第三幼稚園 11月17日(木)
 - 附属浦安幼稚園 11月18日(金)
 - 保育参観(3学期)
 - 附属幼稚園 2月17日(金)
 - 附属第二幼稚園 2月22日(水)
 - 附属第三幼稚園 2月23日(木)
 - 附属浦安幼稚園 2月14日(火)
 - 4園保育参観(1学期)
 - 年長組 4月20日(水)
 - 年中組 4月21日(木)
 - 年少組 4月22日(金)
 - 保育参観(2学期)
 - 附属幼稚園 11月25日(金)
 - 附属第二幼稚園 11月22日(火)
 - 附属第三幼稚園 11月17日(木)
 - 附属浦安幼稚園 11月18日(金)
 - 保育参観(3学期)
 - 附属幼稚園 2月17日(金)
 - 附属第二幼稚園 2月22日(水)
 - 附属第三幼稚園 2月23日(木)
 - 附属浦安幼稚園 2月14日(火)
 - 4園保育参観(1学期)
 - 年長組 4月20日(水)
 - 年中組 4月21日(木)
 - 年少組 4月22日(金)
 - 三田三園
 - 父母の会総会 4月21日(木)
 - 三田幼稚園 4月19日(火)
 - 多摩中央幼稚園 4月22日(金)
 - 八王子中央幼稚園 4月22日(金)
 - 保育参観・試食会(1学期)
 - 三田幼稚園 5月19日(木)・20日(金)
 - 多摩中央幼稚園 5月26日(木)・27日(金)
 - 八王子中央幼稚園 5月17日(火)・18日(水)
 - 保育参観(2学期)
 - 三田幼稚園 11月16日(水)
 - 多摩中央幼稚園 11月7日(月)・8日(火)
 - 八王子中央幼稚園 11月11日(金)
 - 保育参観(3学期)
 - 三田幼稚園 3月1日(水)
 - 多摩中央幼稚園 2月22日(水)・23日(木)
 - 八王子中央幼稚園 2月27日(月)



聖徳学園のふるさと岐阜が生んだ偉大な陶芸家 人間国宝 故加藤卓男 先生の 作品を展示中!

於 聖徳大学 八号館 クリスタルホール 建学記念館 特別展示室

本学では、建学の精神を達成するために実物教育の素晴らしさを取り上げており、その一つに美術資料等を揃えております。なかでも、聖徳学園のふるさとである岐阜県が生んだ加藤卓男先生のラスタール彩の陶器は、世界に誇る大変美しい作品です。

加藤卓男先生は、フィンランド留学中にペルシャ陶器に興味を持ち、復元が不可能であるとされたきた黄金色に輝くラスタール彩陶器の再現に挑戦し、二十余年にわたる試行錯誤の末にようやく成功させました。ラスタール(lustre)とは英語で「輝き」あるいは「きらめき」という意味ですが、ラスタール彩は見る方向(角度)によって陶器表面の色調などが変化するものを指します。*

加藤先生は、一九八〇年宮内庁から正倉院に残る奈をこ覧ください。

*1:陶器に使われる釉薬(上薬)と顔料(絵の具)が、炎の種類・炎に十分な空気を送り込む「酸化炎」と、逆に酸素の供給を少なくした「還元炎」があります。などの適当な条件により化学反応を起し、極めて薄い金属が生成されます。これらの金属が光線を複雑に反射することで、ラスタール彩を生じると考えられています。



聖徳大学 8号館 クリスタルホール 建学記念館 特別展示室

「スローフードと長寿」
かすが荘 講演会
児童学科教授 松浦信夫 先生

二月十日(木)に児童学科教授の松浦信夫先生がセミナーハウスかすが荘において、約三十名の地元の方々に対し講演をされました。講演では世界各国の平均寿命比較や食文化の違いから始まり、一九七〇年代から糖尿病が増えた原因や現代の食生活に対する懸念について話がありました。スローフードとは現代の「ファーストフード」に相對する言葉で、食文化が豊になった反面、その土地のものや郷土料理、より質の良い素材やそれを提供する小規模農家を守り、「食育」を推進していくこととするものです。先生はファーストフードや加工食品が氾濫することで肥満や糖尿病が増していることに警鐘を鳴らし、子ども達が小さい頃から正しい食習慣を築けるよう



講演会の様子

日本・大学出版部協会刊
「総合図書目録」に
本学出版会図書目録収録される



平成十四年九月に聖徳大学出版会が正式に発足し、村井靖児先生の音楽療法を語るが刊行され、本学出版会も皆様の協力添えを得ましてその確かな歩みを開始いたしました。その過程で、早稲田大学、慶応大学、法政大学、東京大学、京都大学など二十九の大学出版会によって構成される日本・大学出版部協会への参画も実現することが出来ましたが、本紙にてお知らせいたしました。

このたび同協会が刊行する「総合図書目録二〇〇五」が出版され、聖徳大学出版会・図書目録も新たに加わっております。当総合図書目録は全国の主要図書館、書店などに備えられます。本学の目録には心と身体「川並弘昭先生 還暦記念論集」など既刊の書籍の情報も収録されており、本学初の図書目録となります。また森 彪先生の「医における癒し」が本出版会から近く刊行されます。

学部生活文化学科
海外研修報告



人文学部生活文化学科管理栄養士専攻
二年Aクラス 谷川 佳穂さん

アメリカを訪れて
食をめぐる旅

今回私達は、アメリカの食生活の現状を知ることが目的として、ロス、サンフランシスコ、ハワイの三箇所を旅しました。実際にアメリカの食事を食べて感じたことは、量が多い、味が濃い、肉料理が多い、目立っておいしいものがない、ということ。特に、おにぎりや、改めると日本食のおいしさに気がつきませんでした。スーパーの見学では、大きい塊の肉、洗剤のタンクのような大きい容器に入っているジュース、種類の豊富な冷凍食品などに驚く

ばかりでした。アメリカで活躍されている方々の講演で興味深かったことは、アメリカ人と日本人の死因の違いは食生活の違いと大きく関わっているということ。また、肥満が増加する一方で、食物のサイズは年々大きくなり、肥満の改善が難しいという現状を知りました。旅行中は運よく天候にも恵まれ、トレジャーアイランドの夜景は最高にきれいでした。また、友達と過ごした毎日はとても楽しく、忘れられない思い出になりました。今回の研修旅行では、

順和寮リニューアル
見学会について



学寮課

前日の雪が方々に残る中、春らしい天気にも恵まれた三月五日(土)に現在改修工事中の順和寮松戸市小金原九丁目(の)の新生・保護者見学会を行いました。昭和四十八年の開寮以来三十年の伝統を築いているこの寮は、昨年四月より一時閉寮し改修工事四入部屋 定員三百三十六名 二入部屋 定員百六十八名)を行ってまいりました。まもなく完成間近という中、四月から入寮が決まっている学生を対象として見学会を行いました。遠くは沖縄県や長崎県からの見学者を含め三十組六十名ほどの参加者がいらっ

しやいました。最寄駅となる新成電鉄常盤平駅から、四月から運行が決まっている寮までのスクールバスを利用して寮へ集合しました。食生活に限らず、アメリカと日本の違いや、それぞれの良い面、悪い面を発見することができました。自分のプラスになるたくさん



カメハメハ大王の前で(前列一番左が谷川さん)

四月からは、一年生中心の順和寮がスタートします。が、今までの順和寮に劣らない新しい伝統を作ってもらい、充実した生活を送ってもらいたいと思います。去る一月二十一日(金)、大学キャンパスにおいて、留学生の交流行事の一つである平成十六年度留学生壮行会が開かれました。現在三十一名の留学生が大学院、学部短大で学んでおり、十六年度修了及び卒業年次生は九名おります。二月の修了・卒業、そして四月からの新たな出発に向けての激励会として企画されたものです。学長先生を始めとする諸先生方からの励ましの言葉に答え、在校生の見守る中、一人ひとりからお礼の挨拶がありました。大学生活の思い出や今後の進路等を交えて、先生方への感謝の意を述べ、途中、感極まって涙ながらに語る学生もおりました。日本人学生とはまた違つ、たくさん苦労があつたのであつたことは想像に難くありません。しかし、言葉



知財戦略課

GP学内コンペ
二月七日(月)、八日(火)、GP採択に向けた取組を選定するための学内コンペ発表会が行われました。GPとは、グッド・プラクティスの略で、優れた取組」という意味です。これは文部科学省が進める事業の一つ

で、各大学の特色ある優れた取組や継続的な成果をあげている取組を採択し、公表することにより、全国の大学に対する教育改革・改善のモデルにしようというものです。コンペは、GP等の分野別(特色、現代、大学院教育、教員養成、国際化支援、専修学校)に対し、各学科、研究所、委員会、幼児教育専門学校から申請された二十二件の各取組について、説明時間十分のプレゼンテーションを行い、発表後は、質疑応答の時間が設けられました。プレゼンテーションはパソコンやOHCなどを使って行われ、先生方の取組に対する

熱意が込められていました。このことは本学の各教育・研究についての新しい発見でした。その後の質疑応答も活発に行われ、各学科等の取組について理解が深まっただけでなく、取組の発展に向けたアドバイスも数多くありました。これらの取組に対する評価は、各学科等の代表の先生方を中心に、取組内容、特色

性、実施体制得られる効果、将来性、発表力などについて採点が行われ、本学代表の取組が選定されました。今後は、選定された取組とともにプロジェクトチームを結成し、採択に向けて努力していきます。詳細は、文部科学省への申請書提出後にご報告いたします。

国際交流課
平成十六年度

留学生壮行会

総合文化学科
優秀賞受賞

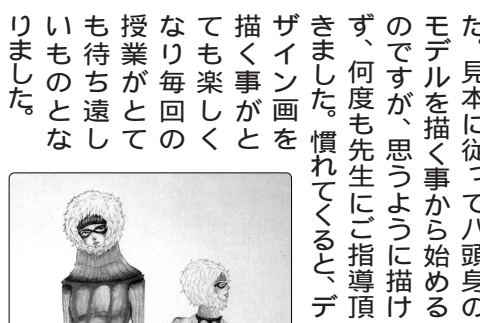
柳澤 真弓さん

去る一月二十一日(金)、大学キャンパスにおいて、留学生の交流行事の一つである平成十六年度留学生壮行会が開かれました。現在三十一名の留学生が大学院、学部短大で学んでおり、十六年度修了及び卒業年次生は九名おります。二月の修了・卒業、そして四月からの新たな出発に向けての激励会として企画されたものです。学長先生を始めとする諸先生方からの励ましの言葉に答え、在校生の見守る中、一人ひとりからお礼の挨拶がありました。大学生活の思い出や今後の進路等を交えて、先生方への感謝の意を述べ、途中、感極まって涙ながらに語る学生もおりました。日本人学生とはまた違つ、たくさん苦労があつたのであつたことは想像に難くありません。しかし、言葉

これまで到達できたという達成感もあり、これから先、厳しくもあろう新天地において心の糧となることでしょう。大学院に進み勉学を続ける者、母国に戻り就職する者、引き続き日本に残り就職を目指す者、道はそれぞれですが、各々の目標に向かい、更なる躍進を遂げてほしいと願っております。九名に心からのエールを送ります。また、四月からは新たに留学生を迎えてさらに活動的になっていくと思えます。

私は総合文化学科のデザインインテグレーションに入学し、デザインに関する事を中心に学んでいます。その授業の一環として、ファッションの授業も組み込まれており、今回のこのコンテストを知ったきっかけも先生に教えていただいた事によります。デザインランチに入学したものの、ファッションのデザイン画を描いた経験はなく、始めはとても辛い授業でした。見本に従って八頭身のモデルを描く事から始めるのですが、思うように描けず、何度も先生にご指導頂きました。慣れてくると、デザイン画を描く事がとても楽しくなり毎回の授業がとても待ち遠しいものとなりました。

ですが、やはりコンテストへ出品する作品となると、今まで描いてきたようなものとは違い、誰も考えつかないような独創性を全面にアピールしたものでなくてはなりません。デザインを練り上げて行く段階で何度も壁に直面し、投げ出したくなることもありました。ですが、その度に先生が熱心にアドバイスを下さったので、自分でも納得できる作品を出品する事ができました。このような素晴らしい賞が頂けたのも、先生のお陰だと思っています。これからもこの賞に満足する事なく、さらに上を目指して頑張っていきたいと考えております。本当にありがとうございます。



シモン・ボツカネグラ

平成十七年二月十六日水
 聖徳大学川並香順記念講堂に於いて聖徳大学・音楽研究センター主催によるオペラ・シモン・ボツカネグラが上演されました。大学院音楽文化研究科が開設されて以来、音楽コースではオペラ研究にも力を入れ、コース教員、学生が一丸となり初めてのオペラ公演の開催となりました。当日



は冷たい雨にもかかわらず、多くのオペラファン、本学園学生、他大学学生に会場にいただきました。また学園内の皆さんの先生方にもご来場いただきました。このオペラは本場イタリアでも上演が難しいオペラですが、本学の優秀な講師陣と学生により上演が可能となりました。お越しいただいたお客様からの評

判もとてもよく、質の高い演奏を実現することができたとともに、大学院音楽文化研究科の水準の高さを学外にアピールする良い機会となりました。



十七年度四月生願書受付中

通信教育部

《五月十日まで》

現在通信教育部では、大文学部・短大部保育科で四月生を募集しています。人文学部では、この四月より社会福祉学科が開設されました。その社会福祉学科が人気を集め、人文学部は昨年の倍以上の出願者数となっています。三年次編入学生も同時に募集しており、人気を集めています。これは既に大学、短大などを卒業された社会人が、養護教諭や高等学校福祉などの教員免許状や、社会福祉士・精神保健福祉士などの国家資格取得のため、あるいは自身の教養のためなど、

自分を高めるために入学を希望する人が多いからです。またその学習スタイルも三年次編入学生以外に、教員免許状の必要科目だけを履修する課程正科生、一科目から履修できる科目等履修生と各自の目的に合わせて選べるようになっています。短期大学部保育科は長い伝統を誇り、通信教育による保育士養成校として卒業と同時に保育士資格や幼稚園教諭免許を取得できます。さらに科目等履修生として最短一年間で司書資格が取得できる、図書館司書課程も開設しています。

通信教育部 2005年4月期前払
 入学料 212,000円、3,270円
 授業料 5,100円

インタビュー 児童学科 福留強 先生

「まちづくり」推進の国内拠点に 生涯学習社会貢献センター竣工



Q 先生の研究分野について教えてください。

A 生涯学習という分野が専門です。生涯学習には自己を高め、人間形成すること、そして生活を向上させる、という二つの目標があります。自己の向上とは生きがいということ。生活の向上は言い換えると経済的豊かさになります。平成元年から国が生涯学習という分野に力を入れ始め、当時の文部省で生涯学習を担当する部署にいたことも研究を始めるきっかけとなりました。また、子どものときから社会貢献のよくなことが好きで、子ども会や青年団体のリーダーとして活動したり、学校の教員として働いたり、いろいろと地域に関わってきた。生涯学習に関連して、まちづくりも推進しています。全国の自治体と一緒に地域をどう活性化させるか、それも生涯学習でどう活性化させるかという活動が注目されています。

Q まちづくり、はどうして大切なのでしょう。

A 従来のまちづくりは道路を作ったり、駅前開発だったり、主に物を作る「街づくり」でした。でも、まちづくりには建物や道路といったハードだけではなくソフトの部分があり、子どもが安全に暮らせるまちづくり、環境にやさ

Q 生涯学習社会貢献センター(以下センター)に期待される役割は?

A これからは地域の人がその周辺地域を含めて地域のセンターにしていきたいですね。学生にとって大学での学びの実践の場です。実はこのセンターには二つの意味があります。ひとつは、生涯学習社会・貢献センターという捉え方です。ここではセンターを通じて、生涯のどの時点で学んでもその成果が正当に

Q どんなまちづくりの企画をセンターから発信していきますか?

A 私は中高年の方の呼び名として「創年」という言葉を提案しました。そして、今創年の方のための「たまり場」を作ろうとしています。たまり場を創年の方々が仲間を作り、ほっとできる場所にして、創年活性化のきっかけにしたいです。また、まだ実験的ですが、福祉や観光などいろいろな性格を持ったたまり場をつくっていきたいですね。すでに東京駅前のビルにたまり場が実現しました。ホテルや喫茶店、カラオケ店等からもたまり場の希望がありますし、また、自分の家を夫婦二人しかいないからたまり場にしたいという人も多くできました。たまり場の経営者一人ひとり

Q 松戸や近隣地域のまちづくりに関する計画は?

A センターにもたまり場を作ろうと思っています。松戸周辺にも十箇所くらい作りたいですね。子育て中のお母さんや不登校児を呼んで、子育て支援

Q 先生が考える「理想のまち」とは?

A 理想のまちはみんなが楽しいまち、活き活きとしているまち。それに活躍する場がないと駄目ですね。非常に難しい話ですが、安全で仕事があって、活動する場があって、仲間がいれば最高なのではないでしょうか。全国のまちはそういうまちを目指しています。大きなまちだとわかりづらくもしませませんが、僕が関わった小さいまちは人口一万人くらいなので、見たらすくわかる。まちを歩いている子どもがあいさつしてくれま。そういうのも理想のまちの姿だと思います。

本学は、大学院・大学・短大の全てで通信教育課程を開設する、日本初の教育機関です。北海道から沖縄まで、年齢は十代から七十年代までと、実に様々な学生に高等教育の機会を広く提供しています。皆さんの周りにも学びの場を探している方がいましたら、聖徳の通信教育をご紹介します。

しいまちづくりなど、さまざまな意味があるので。本学の「まちづくり」はそこに住む人たちがどのように豊かに生きるか、それにどう参画するか、ということ。今どちらが大切かという点、以前の道路や建物を作っていく、「街づくり」より、人と人との関わりやコミュニケーションをつくっていくことなんです。それが「まちづくり」なんです。そうなる特定の人のみではなく、すべての人が参画できる。自分ももっている経験を地域に活かすことは、ひとつの生きがいになるし、それはまちづくりに参画するということにもなるのです。生涯学習を通じて、あらゆる世代に学習機会を提供してもらえれば、結果的にまちづくりにつながっていくわけですね。

評価される「生涯学習社会」を創っていくという意味になります。つぎに、生涯学習・社会貢献センターと考えると、本学がこの社会にどう貢献するかというセンターになり、教員や大学が持っているノウハウをどう地域に活かすかということになります。大学は市民はセンターを使って、自分を向上させる。このまちにある大学として、やっぱり市民から親しまれないといけませんね。

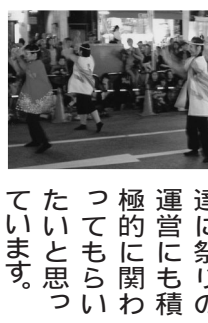
「たまり場」と学生の地域との関わりを研究したいと思っています。センターには子どもの企画ももちろんあります。「平成子どもふるさと検地」として、子ども達が地域を探検して、オリジナルの地図をつくりま。



今年には彼女達に祭りの運営にも積極的に関わってもらいたいと思っています。

Q 先生が考える「理想のまち」とは?

A 理想のまちはみんなが楽しいまち、活き活きとしているまち。それに活躍する場がないと駄目ですね。非常に難しい話ですが、安全で仕事があって、活動する場があって、仲間がいれば最高なのではないでしょうか。全国のまちはそういうまちを目指しています。大きなまちだとわかりづらくもしませませんが、僕が関わった小さいまちは人口一万人くらいなので、見たらすくわかる。まちを歩いている子どもがあいさつしてくれま。そういうのも理想のまちの姿だと思います。



博士論文公開発表会の開催



言語文化研究科(日本文化)

一月二十一日、言語文化研究科博士課程三年の幸玉茹さんの博士論文公開発表会が行なわれました。中近世における日本人編纂の韻書の研究 和漢・漢和聯句の韻書を中心に」という研究テーマです。

中世以後盛んになった聯句という文芸の作成に必要な韻書の研究は従来個別にされていましたが、幸さん

この公開発表会の後、学位授与が決定されれば、幸さんは台湾の大学で日本文化の紹介に努め、本学と台湾の大学との交流に貢献したい、と胸をふくらませて

キャリア支援室

だより

十六年度就職戦線も激戦・激選の状況で終了しました。基礎学力とコミュニケーション能力が以前にも増して問われております。

「書く力」「読む力」「聴く力」の醸成とそれらを基本とした「話す力」が重要になってきました。

- ・今年成果としては
- ・小学校教員合格九十一名 (現役五十五名)
- ・公立幼稚園合格三名(現役)
- ・公立保育士合格八十一名(現役)
- ・公立栄養士合格三名(現役)

厚生労働省認定キャリアカウンセラー試験合格者

- キャリア支援室 室長 高田 茂 (二〇〇一年一月合格)
 - 江畑 典和 (二〇〇四年十二月合格)
 - 土屋 和広 (二〇〇五年一月合格)
- *プロ就職指導者養成のために、厚生労働省が認定する唯一の資格。一年間の通信教育、スクーリング、筆記、面接合格により認定

幼児教育 専門学校

だより

全国保育士養成協議会 関東ブロック協議会 第十八回 学生研究発表会

平成十七年二月二十四日(木)、アルカディア市ヶ谷において、全国保育士養成協議会関東ブロック協議会第十八回学生研究発表会が開催されました。この発表会は、保育士を養成している学校に在学する学生が、学習や学生生活を通じて研究した成果を発表する機会を設け、自主的研究の増進を図ると共に相互理解を深めることにより、学生の資質向上に資することを目的としています。

今年、大学・短大・専門学校十八校二十五件の発表が活発に行われました。本学では、今年一月に行われた、第四十八回グループ研究発表会で研究発表された二十七件の中より代表二件が発表されました。



総合演習 「心からの笑顔を作れる笑顔から出てくる笑顔」

二月四日(金)、元NHKアナウンサーの久下葉子さんをお招きして、「心からの笑顔を作れる笑顔から出てくる笑顔」



「集団の中で気になる行動をとる幼児の指導について」

保育科第一部二年 糸井理 絵・大畑仁登美・黒河内麻 誉・真田あかね・鈴木梢・須永裕子・星野美佳・仲居里美 指導教員 稲葉恵美子先生



「赤ちゃんとのコミュニケーション」

保育科 第一部二年 相原 枝里・井上恵美・薄羽亜由美・内海香子・及川明子・大崎真実・太田舞子・風見幸子・神田まゆこ 指導教員 深津時吉先生

笑顔を作れる笑顔から、出てくる笑顔」と題しまして総合演習を実施いたしました。アナウンサー時代の経験を元にVTR等を使用しながら作った笑顔と心の笑顔の比較についてお話をしていただきました。

総合演習 「よりよい幼児教育者になるためのマナー」

二月八日(火)、恒例の部二年生、部三年生の卒業該当年次の学生を対象とした総合演習、よりよい幼児教育者になるためのマナーを実施いたしました。よりよい幼児教育者・保育者になるために、実際に幼児教育に携った先生方からアド

「普通救命士講習」を実施いたしました。心臓マッサージや止血法等の応急処置を中心に学びました。人と接することの多い教育者、特に幼児教育者となると、子どもの命を救う技術は必要です。

総合演習 普通救命士講習

二月九日(水)、芝消防署の救急隊の方々をお招きして、今年度も一年生対象に「普通救命士講習」を実施いたしました。心臓マッサージや止血法等の応急処置を中心に学びました。人と接することの多い教育者、特に幼児教育者となると、子どもの命を救う技術は必要です。

今まで救命の経験がないという学生がほとんどでしたので、悪戦苦闘しながらの講習になりましたが、楽

第五十七回千葉県小中高学校書き初め展覧会 最優秀団体賞・個人賞受賞

拾翠人迷路

平成十六年度の第五十七回千葉県小中高学校書き初め展覧会は、千葉県下の小中高生より十五万二千二百九十八点の応募があり、一次審査で県内十七地区、四百二十四名の児童生徒が特別賞選考のための地区代表者に選考されました。本校からは東葛飾南地区の代表として四名の高校生が中央席書大会の出場者に出され、それぞれが書の古典に立脚した素晴らしい作品を本番で仕上げました。

審査結果は二月一日(火)に千葉日報新聞紙上で発表され、本校からは個人特別賞として5F三宅代子さんに、千葉県高等学校教職員組合委員長賞が、また6Mサイエンス・グランプリ二〇〇四 附属中学校 第十回記念特別賞・学校賞受賞



知事賞受賞の模様。左から園部さん、三宅さん、緒方さん、青柳さん。

小中学生の自由研究を審査する大規模コンテストである、サイエンス・グランプリ(旺文社・東京電力主催)において、本校の寄与の大きさに対して、第十回記念特別賞が授与され、一月十五日に東京電力(株)本館において授賞式が行われました。本校中学校理科では、毎年生徒達に必修で自由研究を提出させ、それに手を加えることなくサイエンス・

スキー部 この冬も大活躍しました。 1B 遠藤みなみさん 3A 石野 麻有さん 全国中学校スキー選手権大会に県代表として出場。 4B 小櫃万由子さん 関東選抜スキー大会・第54回全国高等学校スキー大会(インターハイ)に県代表として出場。



平成十六年度 茨城県高校総体 女子総合優勝

聖徳中学校・高等学校

平成十六年度最後の高校総体となる、茨城県高校総体総合優勝校の表彰式が去る二月二十五日(金)に水戸市の県武道館で行われました。

昨年、創立二十周年という記念の年を迎えた本校が、その節目の年に六年ぶり三回目の女子総合優勝を果たし、大きな優勝カップを学校に持ち帰ることができました。この表彰はインターハイ茨城県予選全種目の成績をポイントとし優勝校は十二ポイント、その合計ポイントで競い合うものです。毎年、運動部顧問会ではこの女子総合優勝を目標に掲



新堂蘭子さん(6年S組)

「未来の地球を担う子どもたち」

附属小学校の環境教育



環境ISOでは、「和」の精神のもとで、地球環境を大切にすることを育み、環境保全活動に積極的に取り組む「聖徳地球市民」の育成を目指しています。附属小学校では、そのための環境教育の一環として、「みどりの小道」環境日記コンテストに取り組みんでいます。

これは、「財」グリーンクロスジャパンが主催するもので、一九九九年全国の小学生を対象に、環境に対する意識を高めてもらおうと始まったものです。児童がこの環境日記を毎日記入することをきっかけに、日頃から身近な地球環境について考え、身のまわりで何ができるかをみんなで話し合い、小さな事からすぐ実行、反省、行動する習慣を身につけようとするものです。附属小学校では、中学年を中心に参加してきました。

個人賞、団体賞受賞の跡を振り返ってみます。(学年は受賞当時のもの)

二〇〇〇年：個人の部で銅賞を三年森本藍さん、優秀賞を三年玉田優君と立花弘基君が受賞し、学校にはグリーンクロスジャパン(以下G C J)と省略(奨励賞)を受賞した。

二〇〇一年：個人の部で金賞、G C J理事長賞を受賞した。

二〇〇二年：この年は多くの入賞者がいた。個人の部で金賞、東京都知事賞、四年の中尾摩理さん、銅賞、G C J賞を受賞した。逆井大輔君が、佳作「G C J奨励賞」を三年大神僚君、木幡映美さん、徳山未来さん、畑雄斗君が受賞。団体の部では、G C J理事長賞を受賞した。

二〇〇三年：さらに多くの個人賞を受賞した。金賞、G C J理事長賞を五年中尾摩理さん、銅賞、G C J賞を四年山崎恵理さん、大神僚君が、佳作「G C J奨励賞」を三年林翼君、四年木幡映美さん、徳山未来さん、徳永萌さん、齋藤彩音さん、畑雄斗君、田邊菜由さんが受賞した。学校としては金賞「ミハイル・ゴルバチョフ賞」を受賞した。

二〇〇四年：個人の部で金賞、G C J理事長賞を六年中尾摩理さん、佳作「G C J奨励賞」を三年千葉えみりさんが受賞、学校には優秀学校賞「G C J奨励賞」を受賞した。

- このコンテストで評価の目安となったのは次の六つです。
- 一、実行実践
 - ・地球環境行動「ゴミを拾う、水を大切にすること」など
 - ・環境行動「家族や友達を巻き込む、町の環境活動に参加など」
 - ・自然体験(植物を育てる、自然観察など)
 - 二、学び環境理解のレベル
 - ・発見や気づき、深さ、視野の広さ、主張や目標
 - 三、成長度
 - ・取り組み時から三ヶ月後の成果、これからの成長が楽しみな児童
 - 四、継続性
 - ・日々の努力の積み重ねや発見が見られるもの
 - 五、感動
 - ・行動、学び、気づき、継続への感動が見られるもの
 - 六、資料評価
 - ・資料添付のある作品については、何を学んだのか自分の意見が見られるもの

表現あそびを終えて

八王子中央幼稚園

毎年二月に、「表現あそび」が行われます。四月より、生活発表会・運動会と様々なことを経験し、一年間の締めくくりとして、子ども達が歌ったり、踊ったりと保護者の方やたくさんのお客様に発表する会です。この表現あそびを通して子ども達に何を身につけてほしいか、何を感じて欲しいかを一学期中に教諭間で話し合い、全体のねらい、そして、各学年毎のねらいをたて、二学期より取り組みます。生活発表会や運動会の経験からたくさんの方々に見て頂くことの楽しさや嬉しさを知り、「早く、お母さんに見せたいな。」「や、おじいちゃんも来てくれるの!!」など、見ていただくことに期待し、練習に取り組む子どもが多く見られます。「自分から進んでいるいろいろな表現活動に楽しみ満足感を味わったり、イメージを広げたりする。」という平成十六年度表現あそび全体のねらいのもと、幼稚園の中で一番小さなちゅうりっぷ組(二歳児)は、遊戯「ピクニック」にいこう、年少組は、絵本「どつどいのす」、年中組は「みつばちマーヤ」、そして、年長組は歌いながら踊るオペレッタ「オズの魔法使い」を行いました。子ども達一人ひとりの心に、良い思い出としていつまでも残

幼稚園短信 pick up

紅梅が咲きほころぶ二月十六日(水)十七年度に入園する幼児、保護者を対象とした、新入園児たのしみショーが催されました。期待に胸膨らませ朝早くから来園してくる未就園児の元気な声が幼稚園玄関に響きました。

受付後、五歳児の幼児たちが未就園児の手を引き、一緒に「いこうね」と声をかけた

新入園児 たのしみショー

附属幼稚園

園長先生が今日から皆さんは聖徳幼稚園の子どもですよとお話をされると未就園児は嬉しそうに顔をほころばせていました。

第一部のプログラム、三歳児のリズム遊び「てぶくろ」では未就園児もいつの間にか舞台上に引付けられたようにステージの前の方に出て発表に見入っていました。

四歳児・五歳児の歌と合奏では保護者の方の「すこ

に期待し、練習に取り組む子どもが多く見られます。「自分から進んでいるいろいろな表現活動に楽しみ満足感を味わったり、イメージを広げたりする。」という平成十六年度表現あそび全体のねらいのもと、幼稚園の中で一番小さなちゅうりっぷ組(二歳児)は、遊戯「ピクニック」にいこう、年少組は、絵本「どつどいのす」、年中組は「みつばちマーヤ」、そして、年長組は歌いながら踊るオペレッタ「オズの魔法使い」を行いました。子ども達一人ひとりの心に、良い思い出としていつまでも残

り、保護者の方には、ホールはこちらですなどと張り切って案内をしている姿が見られました。

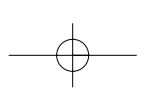
園長先生が今日から皆さんは聖徳幼稚園の子どもですよとお話をされると未就園児は嬉しそうに顔をほころばせていました。

第一部のプログラム、三歳児のリズム遊び「てぶくろ」では未就園児もいつの間にか舞台上に引付けられたようにステージの前の方に出て発表に見入っていました。

四歳児・五歳児の歌と合奏では保護者の方の「すこ

る発表会であって欲しいと願ったり、また、この発表会が一人ひとりの成長の糧になっていくことを祈っています。

年中組のお遊戯



幼稚園短信

一日入園を終えて

多摩中央幼稚園

去る二月十日(木)に一日入園が行われました。保護者と手をつないで幼稚園にやってきました。新入園児の顔は少し緊張して固くなっていましたが、玄関で松組のお兄さん・お姉さん達におはようございますと優しい笑顔で出迎えられると、表情をゆるませ元気に中に入ってきました。この会

に期待を持ったのは新入園児だけではなく、何日も前から小さなお友達に踊りや歌、合奏を見せようと頑張っていた園児達もでした。まだまだ幼いと思っていた桜組も、小さい子に見せてあげるんだよね。頑張ろうと喜んでくれるかな」



仲良くしようね

新入園児保護者会を終えて

附属第三幼稚園

梅の花も色づき始め、春の日差しも感じられる二月十四日(月)、午後から来年度入園する保護者の方に幼稚園の様々なことを知っていただくための「新入園児保護者会」が行われました。一番初めに、学園長先生が保護者の方に「皆さんは

もう隣の方と自己紹介は終わっていますか?まだのようですね。まずは自己紹介をして仲良くなりましょう。」とおっしゃられ、ほんの三四分でしたが、皆さん挨拶を交わし、自分やお子様の紹介、住んでいるところなど言い合うことが出来ました。その時間のなんと大切だったことでしょうか。あつという間にお母様方の緊張した顔がにこやかにになり、その後の学園長

の上での子ども達の姿を見て頂いた後、年長児と一緒に遊ぶ時間を設けました。上手に遊びに導けるのだからかとの心配は杞憂でした。一緒に遊ぶつねと優しく

といった声が聞かれ、この一年でずいぶん成長したものだ感慨深く思いました。その心意気が伝わったのか、桜組の元気いっぱい、ももたろうの踊りに会場から「かわいい」「上手だね」といったお誉めの言葉を頂きました。梅組も立派に歌や合奏を披露することができました。力強い梅組の演奏を見て目を丸くしたり、自分も演奏した気になったのか手を動かす小さな子ども達の姿が見られました。舞台

の生活に期待を持って、四月の入園式を迎えてくれたらしいなと思う一日でした。

先生のお話や園長先生の今こそが大切な子育てをすべき時なので楽しくやっていきましようというお話を、和やかな雰囲気の中で伺うことが出来ました。そして幼稚園に来る時にはひとり緊張した面持ちで来られたお母様も、帰る時には新しいお友達と笑顔で仲良くお話しながら玄関を出られる姿が見られました。

最近の生活形態から大人もコミュニケーションをとることが苦手になってきているように思われます。幼稚園入園はお子様にとっては勿論社会への第一歩、保護者の方にとっても新たな一歩となることでしょうか。皆さんが笑顔で過ごせる環

保育参観を終えて

附属第二幼稚園

去る二月十四日(月)、今年度最後の保育参観が行われました。開始時間が十時にもかかわらず保護者の出席は早く、九時前から来園し、友達と元気に遊び回る我が子をやさしく見守る光景があちこちで見られました。三歳児は数あそび、色あてあそび、四歳児は数あそび、お話づくり、五歳児は科学あそびなどを主に取りあげ保育展開をしました。入園、進級して間もない初めての参観の頃は母親のそばを泣いて離れられずにいた幼児、新しい環境に慣れずなかなか本領発揮できずにいた幼児、すわっていられず自分の思いのままに立ち歩いていた幼児の姿が見られました。しかしそんな幼児達

境を整えていけるように努めていくと共に、新入園児が期待に胸を膨らませ登園してくるのを今か今かと心待ちにしております。



多数ご参加をいただいた説明会

たのしみまじョーを終えて

附属浦安幼稚園

浦安幼稚園の初めてのたのしみまじョーを去る二月十三日に催しました。二百十名の在園児保護者をお招きするに混乱をまねかぬように、当日は玄関前でクラス別に保護者には並んで頂いて会場の席へと御案内し、日頃の園児の発達と先生方の取り組みの成果の舞台を二時間余り観覧頂きました。全園児の合唱、聖徳学園幼稚園々歌から始まり、おもちのチャチャチャ、このもの世界と元気いっぱい歌いました。

年少組のまこちゃん誕生日では男の子がお母さん

役を喜々と演じ、小さな体で精一杯踊り、お友達の声に合わせてのセリフのわかる舞台姿に感涙、そっと目がしらを押える保護者も...。年中組は、虹のむこうに、「貴婦人の乗馬」を合奏、なかでもリズム遊び、ごちゃまぜカメレオンの、カメレオンが長い舌で蚊を捕らえる場面では、大道具の細工の工夫を見て、「ウワァー」と驚きの喚声があがり、園児達も生き生きとしたセリフを演じました。

年長組はリズム劇「金のがちよう」を演じ、合奏では「ハンガリア舞曲第五番」アルプスの夕ばえを演奏しました。最後の講評では短大の保育科の小川哲也先生から「聖徳の伝統よ浦安に根づけ!!」



全園児の合唱

感涙の卒園式

三田幼稚園

三月...暖かい春の日差しの中、一年前、三年前の入園式には真新しい少し大きめの制服に身を包み、保護者に手を引かれ少し不安げな面持ちで参加した子ども達も、立派に成長し堂々と自信に満ちた姿で卒園式に臨んでいました。その姿を見ると、泣いたり、自分勝手なことをしていた入園当初の姿が思い出され胸が熱くなる思いです。卒園式当日は、厳肅な会場内にピアノ演奏による聖徳学園の応援歌が流れる中、最後の制服



姿の卒園生が担任先導のもと、元気いっぱい入場してきます。その後は園長先生から一人ひとりに「おめでとう

ございます」の言葉と保育証書を頂き、ありがとございますと大きな声でお礼の言葉を述べます。お客様からも、おめでとうのお言葉を頂き子ども達は緊張の中にも卒園生としての自覚がし

っかり芽生えている事が感じられます。挨拶や話を聞く態度を見ると聖徳教育のねらいもここに「元気な子ども健康でたくましい子どもに。誰でも仲良くできる子どもに。しっかりと約束のできる子どもに。挨拶のできる子どもに。自分で考えて行動の取

れる子どもに成長した事が実感できる幼稚園最後の行事です。「幼稚園楽しかった」と涙ながらに挨拶をして巣立っていく子どももいます。が幸せな人生を!!と後姿を見送りながら祈ります。



りっぱな卒園生たち

2005年度 シーコンサート 予定表

月/日	演目
4月 19日(火)	聖徳学園「入門コンサート」
28日(木)	新入生歓迎オルガンコンサート
5月 17日(火)	羽田健太郎ピアノコンサート
6月 4日(土)	「南総里見八犬伝」人形劇
6日(月)	リチャード・クレイダーマン
10日(金)	ウィーン少年合唱団
13日(月)	京劇「水滸伝」
20日(月)	スロヴァキア・フィルハーモニー管弦楽団
24日(金)	マリンスキー歌劇場フィルハーモニー管弦楽団
27日(月)	プラハ交響楽団
30日(木)	第31回・第32回 聖徳学園「能楽鑑賞会」
7月 5日(火)	オーソレ・ミオ
8日(金)	うたのおねえさんと歌いましょう
14日(木)	第21回・第22回 聖徳学園「歌舞伎鑑賞会」
9月 30日(金)	ボヘミア・オペラ「カルメン」
10月 7日(金)	北京京劇院「孫悟空」
11日(火)	バーデン市立劇場オペラ「魔笛」
13日(木)	英国女王陛下の近衛軍楽隊
21日(金)	第35回・第36回 聖徳学園「文楽鑑賞会」
31日(月)	鬼太鼓座
11月 2日(水)	ハウスジャックス
4日(金)	第25回・第26回 聖徳学園「落語鑑賞会」
16日(水)	チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
21日(月)	タチアナ・シェパノワ ピアノリサイタル
28日(月)	キエフ国立フィルハーモニー交響楽団
30日(水)	レニングラード国立歌劇場管弦楽団
12月 2日(金)	ロジェ・ワーグナー合唱団
5日(月)	レニングラード国立歌劇場オペラ「椿姫」
8日(木)	チェコ少年合唱
12日(月)	スウィング・シンガーズ
13日(火)	フィンランド・クリスマス・フェスティバル
16日(金)	第22回 聖徳学園「第九の夕べ」
2006年	
1月 10日(火)	ウィナー・ワルツ・オーケストラ
11日(水)	卒業生送別オルガンコンサート
13日(金)	山本正人記念 第22回 聖徳学園「吹奏楽の夕べ」
16日(月)	ヨハン・シュトラウス・アンサンブル
17日(火)	レニングラード・国立バレエ
18日(水)	レニングラード・国立バレエ

(2005.3.10 現在)

聖徳17年度 SOA 第一期 公開講座のご案内

平成17年度SOA第一期公開講座は、4月から7月まで開講する予定です。いろいろなジャンルの講座を数多く用意しております。この機会に是非受講してみたいかたがたが、きっと新しい世界が広がることと思います。(定員になり次第、締切りとさせていただきます。また人数が集まらない講座については休講とさせていただきます。)

講座名	講師名
「時間人間」集まれ! 「空間人間」集まれ! 「時間」と「空間」の秘密を解読しよう	茂木・大田
親子お菓子講座	佐藤 利枝子
子どものためのはじめてのシュガークラフト	佐藤 利枝子
世界の家庭料理あれこれ エスニック風料理を楽しむ	四十九院 静子
子どもの習癖(くせ)との接し方	河野 千佳
小学生の学力不足・学力不振と向き合う高速学習法	吉岡 節夫
漱石の『こころ』をよむ	李 哲権
義経とその時代	眞野 須美子
20世紀のヨーロッパ(政治と経済と社会と生活)	村瀬 満男
児童虐待と市民・専門職の役割	甲斐 聡
幸せな人生、そして結婚	島田 薫
働く女性と健康	上畑 鉄之丞
中国将棋入門 異文化を体験しましょう	和泉 新
絵本・童話の世界を体験する	古橋 和夫
歌を歌う喜び[世界の児童合唱]	泉 靖彦

*上記の他、語学(英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国語)文学、教育・心理、生活・環境、社会・福祉、芸術・文化等の講座を用意しております。(第一期予定講座抜粋)

平成17年度SOAオープニングセレモニーのご案内

平成17年度SOAオープニングセレモニーを下記のとおり開催いたします。入場無料ですので、お気軽にご参加ください。

- 日時 平成17年4月16日(土)13:00~15:30
 場所 聖徳大学生涯学習社会貢献センター(10号館)
 内容 1)公開講演
 講師 遠藤順子先生(故 遠藤周作氏夫人)
 題名 「心あたかぬ医療 夫・遠藤周作からの宿題」
 2)ミニコンサート
 音楽文化学科助教授 原佳大(ピアノ)
 " 助教授 小泉恵子(ソプラノ)
 " 教授 一木瑛美(フルート)
 " 講師 高橋あかね(フルート)
 3)聖徳大学生涯学習社会貢献センター見学ツアー

定員 150名
 参加費 無料
 申込み・問合せ
 生涯学習課まで
 お電話又は直接
 窓口にお申込み、
 お問合せください。



セミナーハウスをどうぞご利用ください!

本学園ホームページより各施設の
 詳細をご覧ください!

聖徳学園には皆様のがんびりとご利用いただけるセミナーハウスがございます!
 新しい仲間との親睦や仲間と今まで以上の親睦を深める場としてどうぞご利用ください!

春日温泉かすが荘 (長野県佐久市春日)

平成17年4月1日の近隣市町村合併により住所表記が変わりました。



開湯300年の古い歴史を持つ春日温泉は入浴後に肌がツルツルになる「美人の湯」として有名です。野趣に富

んだ露天風呂や各種運動施設も備えており、個人旅行はもちろんご家族や小グループでのご宿泊に最適です!どうぞご利用ください!

時期によりお得な宿泊プランを実施しております。詳細はホームページ等をご覧ください。

料金表(税込)	
学生・生徒	5,400円-
児童・園児	4,100円-
教職員	5,400円-
卒業生・家族・同伴	8,300円-
一般・紹介	9,400円-

【車】大泉IC 関越自動車道 藤岡JCT 上信越自動車道 佐久IC 国道・県道 かすが荘
 【電車】東京 長野新幹線 佐久平 町営バス 望月町 町営バス 春日温泉

TEL 0267-52-2111 FAX 0267-52-2119

聖徳学園山中湖荘 (山梨県南都留郡山中湖村)



富士山に最も近い山中湖からは、富士山の雄大な姿を四季折々で見ることが出来ます。周辺にはたくさん

の美術館も点在し、見所満載!山中湖荘では毎回好評の洋風コース料理で皆様のご利用をお待ちしております。どうぞご利用ください!

時期により様々なイベントを企画しております。詳細はホームページ等をご覧ください。

料金表(税込)	
学生・生徒	5,250円-
児童・園児	4,100円-
教職員	5,250円-
卒業生・家族・同伴	8,150円-
一般・紹介	9,250円-

【車】高井戸IC 中央自動車道 大月JCT 中央自動車道 河口湖IC 国道・県道 山中湖荘
 【バス】新宿 中央自動車道 旭ヶ丘バスターミナル 徒歩 山中湖荘

TEL 0555-62-3111 FAX 0555-62-3112

「聖徳大学生涯学習社会貢献センター」の13階に、4月1日(金)からニューオータニ運営のカフェテリア「スパンカ」がオープンします。多くの方々のご利用をお待ちしております。

・営業時間/11:00-17:00
 ・TEL:047-308-5300

▶ Today's Menu 11:30~14:00
 メニューの内容はスタッフにお尋ねください。

Daily Plate 日替わりプレート ・スープ・サラダ・パン/ライス ・コーヒー/紅茶 ¥1,200	A La Carte アラカルト ・本日のお魚料理 (お魚はスタッフにお尋ねください。) 【スープ、サラダ、パン/ライス、 コーヒー/紅茶】¥1,200
Daily Pasta Lunch 日替わりパスタランチ ・スープ・サラダ ・コーヒー/紅茶 ¥950	・香り焙煎カレーセット【ビーフ/シュリンプ】 【スープ、サラダ、コーヒー/紅茶】 ¥1,050
Salada サラダ ・彩り野菜サラダ ¥750 ・イタリアン アンティパストサラダ ¥800 ・カブスープ ¥200 ・パン/ライス ¥200	・牛ロース ステーキセット150g (赤ワインソースまたは特製和風ソース) 【スープ、サラダ、パン/ライス、コーヒー/紅茶】 ¥1,600
Dessert デザート ・北海道パナコ アイスクリーム ¥500 ・今週のデザート ¥600	Drink ドリンク ・焙煎ネドリップ オリジナルコーヒー ¥420 ・アイスコーヒー ¥420 ・カフェオレ【HOT/ICE】 ¥450 ・紅茶【HOT/ICE】 ¥420
	・ハウスワイン(赤・白) グラス ¥500 ボトル ¥2,800 ・日本酒(1合ビン) ¥700 【HOT/COLD】 ・生ビール ¥550 ・ビール(中ビン) ¥600
	・ウーロン茶 ¥420 ・コーラ ¥420 ・ジンジャーエール ¥420 ・100%ジュース 【オレンジ/グレープフルーツ/トマト】 ¥450
	Monthly Recommendation 今月のシェフのおすすめ ・鹿児島産豚ロースのかりとろプレート 【スープ、サラダ、パン/ライス、 コーヒー/紅茶】 ¥1,100

上記の料金には所定の税金が含まれます。

生涯学習社会貢献センター(10号館)内は全室禁煙です。

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073
 東京都港区三田3-4-28
 TEL.03-5476-8811(代)

発行人 川並弘昭
 編集 理事長室 企画渉外課
 05.4.1 re (32)



この印刷物は古紙配合率100%再生紙を使用しています。



この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。



読者の欄

学園広報誌聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。聖徳フラッシュは皆様の広報誌です。つきましてはインターネットを利用して皆様の聖徳フラッシュに対するアンケートを取らせていただいております。お手数ですがご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今後、ますます充実させていきたいと思っております。是非皆様からのご意見・ご感想をお寄せください。

アンケートURL <http://www.seitoku.ac.jp/flash/index.html>

ご意見・ご感想の宛て先

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬550 東京聖徳学園 「聖徳フラッシュ」係まで

(インターネットからは <http://www.seitoku.ac.jp/gakuen/toiwase/> の「その他のご意見・お問い合わせ」まで)